

## CT検査留意事項

検査サービスをご利用いただく際は、下記の内容をご確認ください。  
(末尾に参考資料「CTチェックリスト」がありますのでご参照ください。)

### 1. 放射線被ばくについて

CT検査ではX線を使用しますので、放射線被ばくによる発がんのリスクよりも診療上の利益が大きいと考えられるかどうか、十分ご検討ください。また、放射線被ばくによる発がんのリスク、診療上の利益とリスクを比較した検査の必要性を患者さんに説明してください。検査を依頼する際は、依頼内容の最適化(必要最低限の撮影範囲の選択など)を行ってください。

### 2. 「検査サービス利用申込書」について

「検査サービス利用申込書」に単純と造影の別、撮影希望部位を選択してください。腹部から骨盤部までを希望する場合、「腹部」、「骨盤部」の2つを選択してください。

病名、検査目的を詳記してください。記載された情報に基づいて当院の放射線科医が検査方法を最終決定し、画像診断を行います。

病名について) 確定病名と疑い病名を区別してください。病名だけが記されている場合、当該疾患が確定診断されているとして検査・診断を行います。

検査目的について) 検査適応決定や診断に必要な情報(症状、経過、他検査所見、既往歴等)を詳記してください。複数部位をご依頼の場合、各部位の必要性がわかるようにしてください。

特別依頼について) 撮影や画像処理に関わる特別な依頼事項があれば記載してください。

### 3. 「CT検査依頼確認書(事前FAX用)」について

「CT検査依頼確認書(事前FAX用)」に必要事項を記入し、「検査サービス利用申込書」と共にFAXしてください。

#### 1) CT撮影に関する確認事項について

- ・妊娠中または妊娠の可能性がある場合は、検査をお受けできないことがあります。
- ・検査を受ける部位に体内電子機器がある場合は、誤作動のおそれがあります。

例: 心臓ペースメーカー、植込み型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植込み型除細動器(CRT-D)、脊髄刺激装置、深部脳刺激装置

#### 2) 造影剤投与に関する確認事項について

- ・造影検査をご依頼の場合は、造影剤に関わるリスクについても患者さんに説明してください。また、造影剤アレルギー歴、気管支喘息の有無などを十分に確認してください。造影剤使用禁忌に該当する場合は検査をお受けできません。
- ・造影検査をご依頼の場合は、「CT 検査依頼確認書(事前 FAX 用)」に検査前 3 ヶ月以内の eGFR 測定値と測定日を記載してください。eGFR が 30 mL/min/1.73m<sup>2</sup> 未満の場合は造影検査をお受けできません。
- ・ビグアナイド系糖尿病薬とヨード造影剤を併用すると乳酸アシドーシスがあらわれるおそれがあります。

#### 4. その他

- ・鎮静の必要な患者さんはお受けできません。
- ・冠動脈CTは実施しておりません。

#### (資料) CTチェックリスト

##### 1) CT 検査のチェックリスト

###### 原則禁忌

1. 妊娠または妊娠の可能性のある患者(ただし母体の安全が優先される緊急時は除く)

###### CT 検査に注意を要する患者(警告または注意項目)

1. 撮影範囲に CT で異常を生じる可能性のある電子機器を有する患者  
例: ペースメーカー、植込み型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植込み型除細動器(CRT-D)、脊髄刺激装置・深部脳刺激装置
2. 新生児及び乳幼児(放射線感受性が高い)

##### 2) ヨード造影剤のチェックリスト

###### 禁忌

1. ヨードまたはヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者  
ただし、ヨード造影剤による重篤なショックは過去の造影剤投与で副作用がなかった方にも生じることがある。
2. 重篤な甲状腺疾患のある患者

###### 原則禁忌

1. 一般状態の極度に悪い患者
2. 気管支喘息のある患者
3. 重篤な心障害のある患者
4. 重篤な肝障害のある患者
5. 重篤な腎障害のある患者
6. マクログロブリン血症の患者
7. 多発性骨髄腫の患者
8. テタニーのある患者
9. 褐色細胞腫のある患者及びその疑いの患者

###### 慎重投与

1. 発疹、蕁麻疹等のアレルギーを起こしやすい体質を有する患者
2. 両親、兄弟に気管支喘息、発疹、蕁麻疹等のアレルギーを起こしやすい体質を有する患者
3. 薬物過敏症の既往歴のある患者
4. 脱水症状のある患者
5. 高血圧症の患者

6. 動脈硬化のある患者
7. 糖尿病の患者
8. 甲状腺疾患のある患者
9. 肝機能が低下している患者
10. 腎機能が低下している患者
11. 急性膵炎の患者
12. 高齢者
13. 新生児、幼・小児

#### その他の注意

1. 授乳中の女性には投与後 48 時間は授乳を避けるように指導する。
2. ビグアナイド系糖尿病薬とヨード造影剤を併用すると乳酸アシドーシスがあらわれるおそれがある。  
eGFR 45 mL/min/1.73m<sup>2</sup> 未満では特別な対応をする。
3. 造影 CT の適応を決める際に、事前に腎機能を評価する。